

**多** 角化経営で年商1000億円の山佐（岡山県新見市、佐野慎一社長）が、エネルギー事業を推進している。2018年度中に計300MWの太陽光発電所を開き、今後は風力発電所やバイオマス発電所の開発も視野に入れ、再生可能エネルギーを同社第3の事業に据えるべく、人材の確保に本腰を入れ始めた。

山佐は岡山に拠点を構え、スロットマシンの製販や航空機・船舶のリース、そしてメガソーラー開発の3本柱で成長路線を走っている。2014年3月期の売上高は91.3億円で、前期もほぼ横ばいで着地する見通しだ。

なかでも、1986年に参入した航空機のリース事業は好調で、エアバスやボーイング社製の航空機を独ルフトハンザや英ブリティッシュ・エアウェイズなどの航空会社に貸し出している。航空機の保有台数は国内トップの172機で、船

舶も含めると、総資産は5600億円を超える。

この巨額な資産の分散を目的として、13年に太陽光発電事業に参入した。40円案件こそ出遅れたものの、36円の案件を積極的に開発し、15年5月末時点の稼働済み発電所は全国29カ所53.6MWにのぼる。権利付き用地も取得し、当初目標としていた300MWを18年度中に運開する目途が立った。

300MWの中には、東日本大震災の被災地である宮城県亘理町の50MW（A・C）の大規模発電所がある。

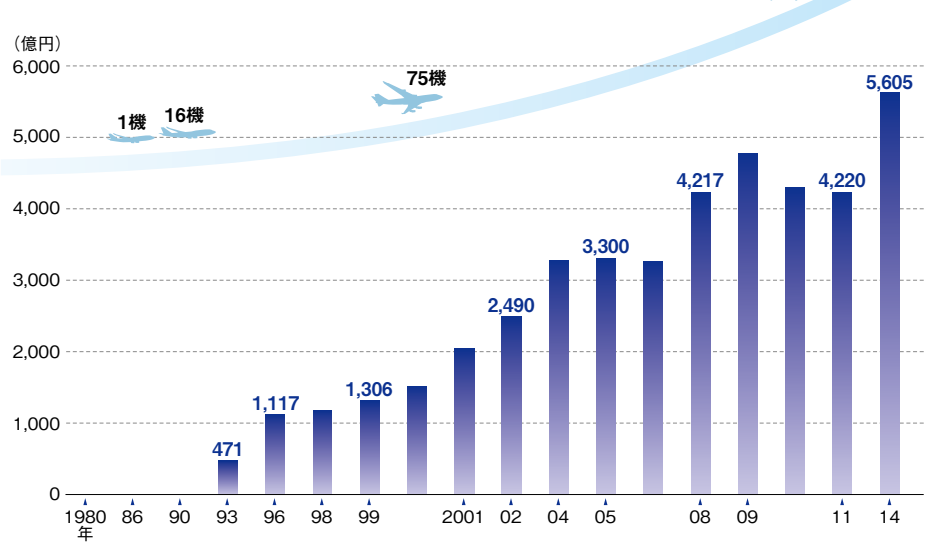


佐野慎一社長

# 山佐が描くエネルギービジョン

## 3年内に太陽光発電所300MW運開へ 風力、バイオ、電力卸を見据え 人材確保に本腰

### 山佐の総資産(バランスシート)と保有する航空機の推移



浸水地での開発という難しい条件に加え、目の前に海を臨む津波のリスク、そして無制限・無補償の出力抑制の可能性などで、プロジェクトファイナンスにはなじまない案件だ。それでも佐野社長は、「誰かが手を挙げてアクションしなければ、その土地はずっと更

地のまま活用されなくなってしまう。なんとか土地を有効利用して、被災地の復興に役立てたかった」と、コーポレートファイナンスで建設することを決断した。このように大型プロジェクトに取り組んだが体制強化が喫緊の課題となっており、佐野社長は、「大規模

発電所における建設を総合的に管理した経験のある人は是非とも連絡を頂きたい」と言う。

### 再エネを第3の柱に 経験豊富な人材求む!

同社は、太陽光ビジネスの枠を超えた展開を目論み、エネルギー事業を第3の柱と位置づける。「系統の制約があるなかで、単に発電所をつくる段階は終わった。今後は電力をどこに売るのが、蓄電池併設の発電所かどうか、採算をとるのか、風力やバイオマスへの参入のほか、海外案件への投資など、市場の変化を見据えて事業戦略を練っていかねばならない」。

そこで同社は、経験豊富な人材の採用に力を入れている。主な業務は、今後建設する200MW強の太陽光発電所のプロジェクト管理や、保有する発電所の最適運用で、このほかにも、海外での発電所投資の経験や他の再エネ開発に長けた人材も歓迎し、再エネ関連従事者を増やし、第3の事業へと育てたい考えだ。また、太陽光発電所で発

|                    |           |
|--------------------|-----------|
| ● 運開実績 (2015年5月現在) | 53,650kW  |
| ● 2017年3月末 運開      | 163,266kW |
| ● 2018年 運開         | 86,093kW  |

合計 **303,009kW**

#### 【中国・四国】

|         |         |           |          |          |         |
|---------|---------|-----------|----------|----------|---------|
| ● 弥高西   | 1,101kW | ● 土佐清水市   | 970kW    | ● 高梁津川町  | 608kW   |
| ● 弥高第二  | 605kW   | ● 京山山頂    | 1,445kW  | ● 足見     | 616kW   |
| ● 矢掛    | 293kW   | ● 西山内     | 2,156kW  | ● 大橋寺    | 552kW   |
| ● 寄島事業所 | 1,212kW | ● 児島上の町   | 10,157kW | ● 島根大東   | 646kW   |
| ● 吉備中央町 | 1,199kW | ● 井原美星    | 519kW    | ● 島根長谷   | 1,232kW |
| ● 大佐山   | 308kW   | ● 津山綾部    | 616kW    | ● 山陽小野田  | 1,700kW |
| ● 福山市加茂 | 1,208kW | ● 美作北山    | 308kW    | ● 有帆     | 2,100kW |
| ● 江津    | 2,037kW | ● 真庭カンツリー | 11,630kW | ● 香川こんぴら | 8,273kW |

#### 【九州】

|           |          |
|-----------|----------|
| ● 福岡川崎町田原 | 1,705kW  |
| ● 熊本山鹿1   | 2,277kW  |
| ● 熊本山鹿2   | 1,149kW  |
| ● 葦原町豆蔵   | 616kW    |
| ● 矢護山     | 23,000kW |
| ● 宮崎日向    | 21,252kW |
| ● 春山地区第二  | 2,587kW  |
| ● 春山地区第三  | 1,960kW  |

### 山佐株式会社 環境エネルギー事業部

【岡山本部】  
〒702-8033 岡山市南区福富東2-20-6  
Tel : 086-262-5127 Fax : 086-262-5024

【東京支社】  
〒110-0015 東京都台東区東上野2-15-12  
ニコビル5F  
Tel : 03-3837-2349 Fax : 03-3837-0340

E-mail : support\_solar@kaerunet.co.jp  
<http://kaeru-solar.com>

【求人に関するお問い合わせ】  
総務部人事課 Tel : 086-262-5131  
E-mail : info@kaerunet.co.jp

